

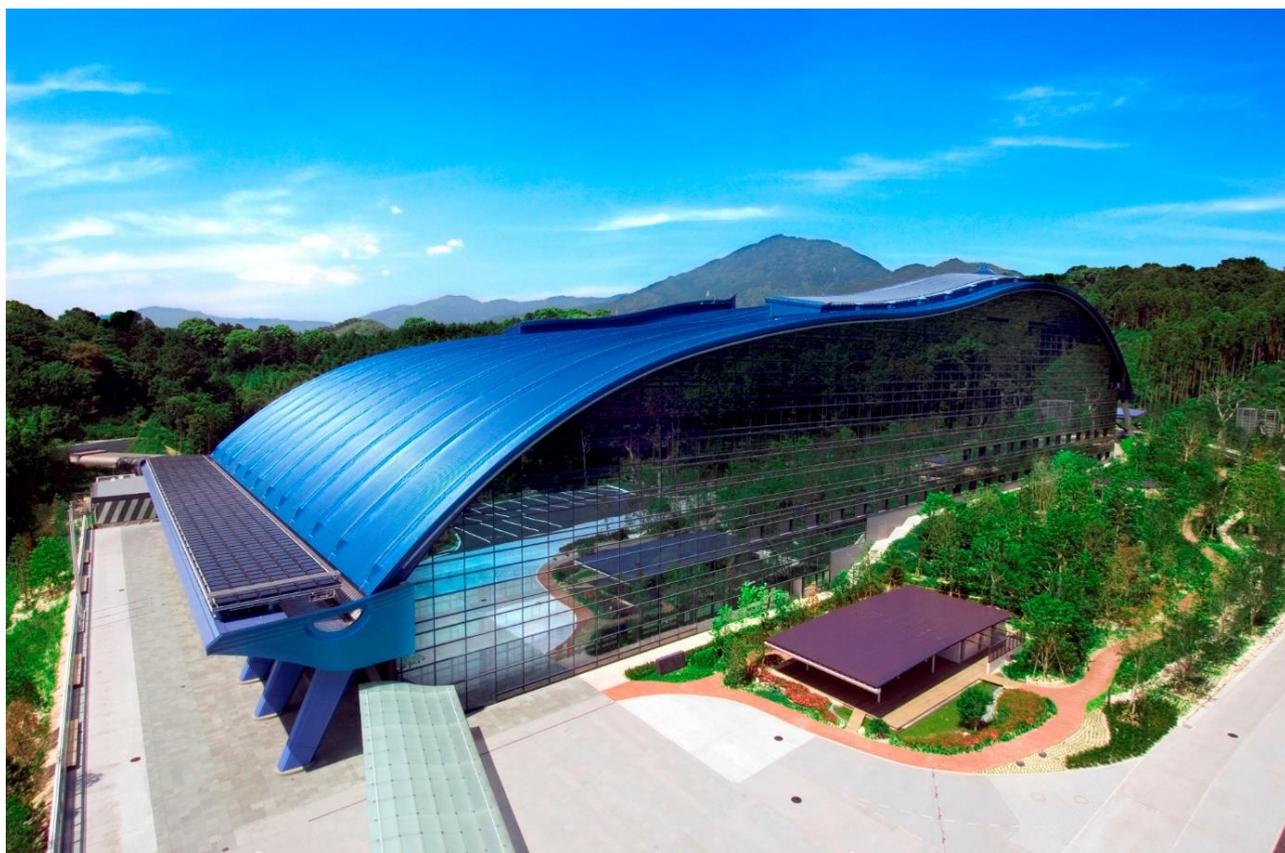
# 九州国立博物館

## 学校利用ガイド

### 目次

|             |     |
|-------------|-----|
| 九州国立博物館の概要  | P1  |
| 施設案内（1F～3F） | P2  |
| 文化交流展示室について | P3  |
| ご利用案内       | P4  |
| 館外施設案内図     | P5  |
| 学習プログラム     | P6  |
| お問い合わせ番号まとめ | P13 |

# 九州国立博物館の概要



## 九州国立博物館とは

- ▶ 国立文化財機構に属し、東京、奈良、京都に次ぐ4番目の国立博物館として、2005年（平成17年）10月16日に福岡県の太宰府の地に開館しました。
- ▶ 「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」をコンセプトとした歴史系博物館で、旧石器時代から近世末期（開国）までの日本の文化の形成について展示しています。
- ▶ 日本と交流のあったアジアやヨーロッパの国々の文化を、見るだけでなく、聞いたり、触れたり、嗅いだりして五感で体感できます。
- ▶ 「市民と共生する博物館」を目指すため、多くのボランティアが博物館事業に協力しています。

## 当館の収蔵品（一部）



埴輪 馬

伝茨城県土浦市  
真鍋古墳群  
古墳時代



重要文化財 鬼瓦

太宰府市都府楼跡出土  
奈良時代



唐船・南蛮船図 屏風

狩野孝信筆 江戸時代

# 施設案内（1F～3F）

1F



## エントランスホール

総合案内所をはじめ、ショップやミュージアムホールが設置しており、イベントなども開催しています。集合場所としてもご利用いただけます。



## 研修室・和室

講演会や休憩などに利用できます。研修室は半分に仕切って使用することもできます。

※要施設予約（有料）。飲食可。



## 体験型展示室 あじっば

多様な文化や歴史を五感で体験できる空間です。楽器の演奏や衣装体験、工作など時間を忘れて楽しむことができます。



## ミュージアムホール

博物館ガイダンスをはじめ、公演・演劇等、多様な催しの開催が可能です。

※要施設予約（有料）。飲食不可。

2F



## 収蔵庫・保存修復施設（学芸エリア）

2階の大部分を占める「収蔵庫」は9つの部屋で温度・湿度が厳しく管理され、文化財に応じた環境がつけられています。また、「保存修復施設」は研究・保存・修復を目的としたエリアで博物館活動の要となる施設です。

※バックヤードツアーでは「保存修復施設」の一部見学が可能です。（要申込。詳細 P7,P8）



3F



## 特別展示室

床面積約 1500 平方メートル・天井高 7m の木色を基調とした落ち着いた雰囲気での展示室です。年間 3～4 回の特別展を行っています。

※観覧料が別途必要です。ボランティアガイドツアーは行っていません。

# 文化交流展示室（4F 平常展）について

文化交流展では、日本とアジア・ヨーロッパとの文化交流の歴史を紹介しています。旧石器時代から江戸時代までを交流の広がり方に合わせて5テーマに分け、それぞれの文化交流を物語る作品を展示しています。見学の順序は自由です。教科書で見た名品をたどるのもよし、自分の好みの分野を回るのもよし、自由に、興味のおもむくままにご覧ください。 ※ボランティアガイドツアーも実施しています。（要申込。詳細 P7,P8）

## 1 テーマ 縄文人、海へ（3万5千年前～紀元前4世紀）



氷河期であった旧石器時代。人々は大型動物を狩り、植物を採集し、遊動生活をおくっていました。縄文時代には気候が温暖化し、森にはたくさんの木の実がなり、小型動物が現れ、海は豊かな漁場となりました。人々は土器を作って食料を煮炊きし、定住生活をおくり、飾り、祈り、弔いも行いました。サケなどの食料が豊富な東日本では、特に文化が花開きました。

## 2 テーマ 稲づくりから国づくり（紀元前4世紀～紀元後7世紀）



弥生時代、大陸から米作りや金属器が九州に伝わりました。農作業を共同で行う中で人々をまとめる人が現れ、やがて地域を治める王になりました。古墳時代には列島の大半を治める大王が現れました。大陸からは多くの人々が渡来し、乗馬の文化や須恵器製作の技術を伝えました。九州では石人や装飾壁画によって首長の死後の安寧を祈る独自の古墳文化が展開しました。

## 3 テーマ 遣唐使の時代（7世紀～12世紀）



奈良時代の日本は唐の都長安に遣唐使を送り、先進的な国家制度や仏教を学び、国際色豊かな品々を持ち帰りました。大宰府はアジアとの外交・貿易の拠点として繁栄しました。平安時代には、渡来の文化を基盤に、「仮名」に代表されるような日本独自の新しい文化が生まれました。仏教でも密教や極楽往生を願う信仰が流行し、未来に経典を残すために経塚が盛んに造られました。

## 4 テーマ アジアの海は日々これ交易（12世紀～16世紀）



武士が台頭した鎌倉時代から室町時代にかけて、アジア諸国の貿易商人たちは大海原をさかんに往来しました。京都や博多などの都市をはじめ、各地で商業が発達しました。覇権を争った武士たちのあいだでは、禅僧が伝えた水墨画や茶などが富や権力の象徴として流行し、それはやがて日本の伝統文化を代表する茶の湯（茶道）へと発展しました。

## 5 テーマ 丸くなった地球近づく西洋（16世紀～19世紀）



室町時代の終わりから安土桃山時代は、ヨーロッパの大航海時代にあたります。アジアに進出してきたヨーロッパ人との交流を通じて、鉄砲やキリスト教が日本にもたらされ、日本からは銀や工芸品などが海を渡りました。戦乱が終わり社会が安定した江戸時代、日本は長崎や対馬、琉球、蝦夷地を通じて世界とつながりました。日本の磁器や漆器が世界を魅了した一方、国内でも世界への知識は広がり、蘭学など多彩な文化が育まれ、やがて訪れる近代への礎となりました。

## 開館時間

(通常) 9時30分～17時00分 (入館は16時30分まで)

(夜間開館日) 9時30分～20時00分 (入館は19時30分まで)

※夜間開館は原則として特別展会期中の金曜日・土曜日です。

※閉館時間は変更となることがあります。

## 休館日

・月曜日 (月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)

・メンテナンスによる休館日 (12月24日～31日) ※令和3年

## 観覧料 (文化交流展示室)

大人 700円

大学生 350円

※障がい者手帳等をご持参の方とその介助者1名は無料。

※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は無料。

入館の際に年齢のわかるもの (生徒手帳、健康保険証など) をご提示ください。

※特別展は別料金。

学校教育活動を行う小・中・高校生団体を引率する教職員の方も、事前に申請いただくことにより、4階文化交流展示室に無料で入室することができます。  
詳しくは「予約申込・お問い合わせ (P8)」を参照ください。

## 交通案内 (鉄道)

西鉄：西鉄天神大牟田線で「西鉄二日市」駅乗り換え 西鉄太宰府線「太宰府」駅下車  
徒歩約10分。

JR：JR鹿児島本線でJR「二日市」駅下車。(下車後は下記参照)

※ JR 二日市駅からのアクセス方法

- ・徒歩 (約12分) または西鉄バス (約6分) で「西鉄二日市」駅へ。西鉄太宰府線に乗り換え「太宰府」駅下車。徒歩10分。
- ・タクシーで九州国立博物館まで約15分
- ・西鉄バスで九州国立博物館まで約30分 (1時間に1本運行)

## 駐車料金

自転車 無料

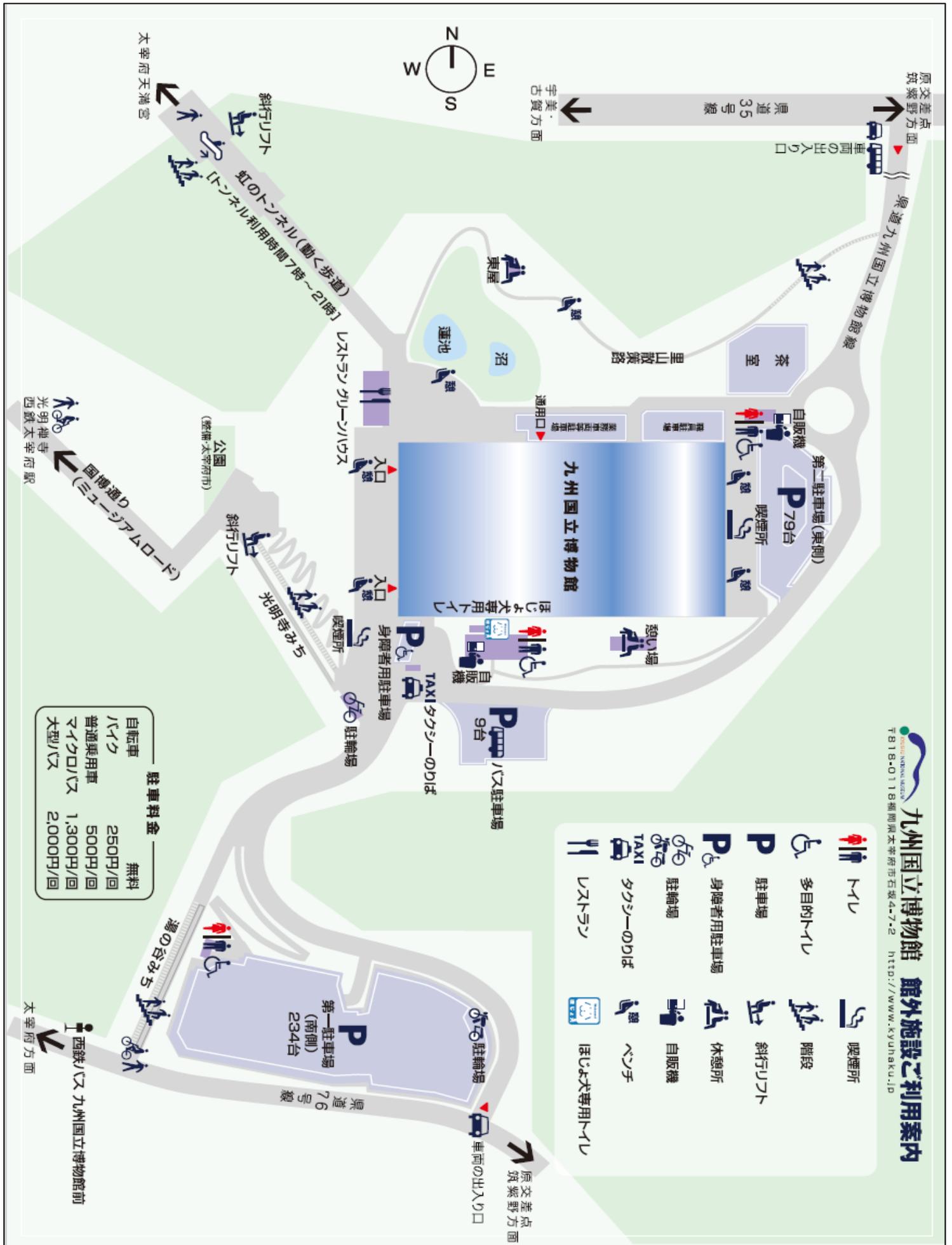
普通乗用車 500円/回 (30分以内の出庫は無料です。)

マイクロバス 1300円/回 (30分以内の出庫は無料です。)

大型バス 2000円/回 (30分以内の出庫は無料です。)

※障がい者手帳等 (原本) を提示された方は、駐車場料金が免除されます。

# 館外施設案内図



## 博物館に行く

～博物館紹介・ボランティアガイドツアー・あじっば体験～

博物館の見所について研究員から話を聞くことや、日本とアジア・ヨーロッパとの文化交流の歴史を紹介している「文化交流展示室」を自由に見学できます。また、展示物の見方や楽しみ方などを聞くことができるボランティアガイドツアーもおすすめです。

体験型展示室「あじっば」では、古くから日本とかかわりのあったアジアやヨーロッパの国々の生活用品、衣装、楽器、おもちゃなどを実際に手に取って楽しむことができます。

## なりたい自分を探す

～キャリア教育・先生向け講座～

博物館で働く人の仕事を見学したり、仕事内容について聞いたり、実際に体験することができます。また、先生方が学校教育に博物館をもっと活用しやすくなるように、先生向けの講座も開設しています。

## 博物館を呼ぶ

～九博アウトリーチプログラム「きゅーはくきゃらばん」～

普段なかなか博物館に来ることができない方のために、地域の施設やイベント会場に博物館職員が出向きます。「あじっば」のさまざまなコンテンツを現地で体験することができます。また、文化財のレプリカ等を活用した出前授業も行っています。

## 事前に学ぶ

～学校用貸出キット「きゅうぱっく」～

手に取ることのできる実物資料、最新の技術を駆使して正確にかたちを再現したもの、博物館に展示してあるのと同じもの、音や匂いを体験することのできるツール・・・

学校の授業で、学校行事や研修会で、博物館訪問の事前学習に、さまざまなかたちで活用できる15種類のパックを用意しています。

# 博物館に行く

重要！ 新型コロナウイルス感染防止対策のため、プログラムの一部制限や施設の利用制限を行う場合があります。

所要時間 定員 場所

## 博物館紹介

要申込

はじめて九州国立博物館を訪れる子ども向けに博物館の役割や展示の見どころ、見学マナーについて研究員やボランティアガイドがお話します。

30分程度 240名まで

会議室・研修室・ミュージアムホール



## 文化交流展示室ガイドツアー

要申込

文化交流展示室（平常展）をボランティアガイドによる展示品の解説とともにご案内します。博物館見学の前が効果的です。

50分程度 1グループ10人程度（最大4グループまで）

文化交流展示室（4F）



## バックヤードツアー

要申込

普段見ることのできない収蔵庫や文化財保存修復施設などの見学を通して文化財を守る大切さを学びます。ボランティアガイドがご案内します。

40分程度 1グループ10人程度（最大4グループまで）

エントランス～収蔵庫前～文化財保存修復施設



## 文化交流展示室自由見学

文化交流展示室（平常展）を自由に見学できます。日本とアジア諸国との文化交流の歴史を、好きな時代、関心のあるテーマからご覧ください。

無制限 なし（室内の混み具合によっては入場をお待ちいただく場合があります。）

文化交流展示室（4F）



## 体験型展示室「あじっば」自由見学

古くから日本とかかわりのあったアジアやヨーロッパの国々の生活用品、衣装、楽器、おもちゃなどを実際に手に取って楽しむことができます。

無制限 70名（予約不可。定員を終る場合は入場をお待ちいただく場合があります。）

あじっば（1F）



## 予約申込・お問い合わせ

交流課ボランティア室（092-929-3289）

※詳細は次ページをご覧ください。

# 博物館に行く

## 予約申込・お問い合わせ

当館では、遠足、社会科見学、総合学習や修学旅行等で4階文化交流展示室をご観覧いただく学校団体向けに、次のような制度を設けています。（3階特別展については実施しておりません。予めご了承ください。）

- ① 学校教育活動のため、教職員の方が下見される場合、4階文化交流展示室に無料で入室することができます。（下見の当日、1階館内チケット売り場にて、「下見申込書」に必要事項をご記入ください。その際、職員証等の身分証明書の提示が必要です。）
- ② 学校教育活動を行う小・中・高校生団体を引率する教職員の方は、事前に申請いただくことにより、当日の引率において4階文化交流展示室に無料で入室することができます。
- ③ ボランティアガイドによる「博物館ガイダンス」「展示室ガイドツアー」「バックヤードツアー」が体験できます。（料金無料。ただし曜日や人数の制限があります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。）

展示室見学のみ

展示室見学＋その他の申込

- ・博物館ガイダンス
- ・展示室ガイドツアー
- ・バックヤードツアー

まずはお電話を！

交流課ボランティア室（直通）

**TEL 092-929-3289**

## 学校団体観覧申込書（教職員無料）の提出

※九博 HP よりダウンロードし、必要事項を記入の上、総務課総務係までお送りください。

- ・署名が引率責任者ご本人のものでない場合は、申請は無効となります。ご注意ください。
- ・学校教育活動による観覧であることを証明する書類（修学旅行のしおりの写し等）を添えて、来館予定日の1ヶ月前～1週間前間にFAXにてお送りください。（FAX：092-918-2810 総務課総務係）
- ・お送りいただいた書類に当館確認印を押印の後、FAXにて返信いたします。来館当日はその書類を必ずお持ちになり、4階文化交流展示室（平常展）入口にご提出ください。

# 博物館に行く

## ご来館の前に

博物館には、一般のお客様も大勢来館されます。すべての方が博物館で気持ちよく過ごせるために、下記「**博物館の観覧マナー**」の内容についてご理解いただき、事前に児童生徒の皆様にご周知ください。また、当日は**展示室（特別展示室、文化交流展示室）へはまとまって入室**いただき、適宜、児童生徒の皆様へのご指導をお願いします。

### ○昼食場所について

館内は**研修室、和室のみ飲食可能**です。ただし、**利用については有料で、事前予約が必要です。**（092-929-3291）なお、博物館の外のベンチやウッドデッキ等の休憩場所を利用される場合には、料金、予約とも不要です。それぞれの位置はP5「館外施設案内図」を参照ください。

### ○展示替えについて

4F 文化交流展示室は、文化財保護のため、定期的に展示替えを行っています。**目的の作品が必ず見られるとは限りません。**九博HP「展示案内 収蔵品ギャラリー」により現在展示中の作品をご確認いただけます。

### ○特別な支援が必要な児童・生徒への対応について

特別な支援が必要な児童・生徒の皆様にも多くご来館いただいています。**まずは交流課教育普及室（092-929-3294）にご相談ください。**よりよい活動となるよう、先生方と一緒に考えてみたいと思います。九博HP「ご利用案内」のバリアフリー情報もご参照ください。

### ○博物館の観覧マナーについて

貴重な文化財や、一般のお客様の楽しい時間のために、次のことを守って楽しんでください。

- ・**飲食は指定された場所**でお願いします。
- ・**写真撮影は OK** などところと **NG** のところがあります。
- ・**展示品にはさわらない**でください。
- ・**話し声は控えめに。**携帯電話は**マナーモードに設定**して、**通話は展示室の外**でお願いします。
- ・**メモをとるときは鉛筆を使用**してください。



# なりたい自分を探す

重要！ 新型コロナウイルス感染防止対策のため、プログラムの一部制限や施設の利用制限を行う場合があります。



期間



所要時間



定員



対象学年

## 中学生職場体験

博物館業務の見学や接客体験を通して、仕事をする意義や大切さを学ぶプログラムです。



2日間まで



火～金 9:00～16:00



1校6名まで



福岡県内の中学生

経費（交通費・食事代・保険料など）については、学校あるいは参加者負担となります。



## なりきり学芸員

文化財の魅力を伝える学芸員の仕事の一部を体験するプログラムです。文化財を観察して気づいたことの記録や、実際に展示道具を使ってケースに展示を行います。



不定期（年3回程度）



2時間程度



1回につき6名まで



小学3年生以上



## なりきり考古学者

昔の人が遺したものを研究する考古学者の仕事の一部を体験するプログラムです。様々な道具を使って、器の「大きさ」や「形」「厚み」を調べます。



不定期（年3回程度）



2時間程度



1回につき5名まで



小学4年生以上



## 先生のための博物館活用講座

小・中・特別支援学校の先生を対象に博物館の多様な活用法を広めるため、当館の学校団体向けメニューを紹介する講座です。



夏休み期間中に開催



（展示室見学、あじっば体験も含めて）4時間程度



25名程度



全国の小・中・特別支援学校の教員



### 予約申込・お問い合わせ

**交流課教育普及室（092-929-3294）**

※開催情報は当館ホームページ「最新情報」や「催し物案内」で随時お知らせします。

# 博物館を呼ぶ

**重要！** 新型コロナウイルス感染防止対策のため、プログラムの一部制限や施設の利用制限を行う場合があります。



期間



所要時間



定員



対象学年



場所

## 「きゅーはくきゃらばん」

当館の研究員が九州国立博物館の大人気コーナー“あじっば”で楽しめるアジアの民族楽器・衣装やおもちゃ、「きゅうぱく」などのコンテンツをお住まいの地域に持ち込んで、出前授業やワークショップを行います。授業で、イベントで、さまざまな場面でご活用いただけます。

ぜひ“本物”に触れる体験をお楽しみください！ ※テーマは打ち合わせに基づき決定します。



通年



授業 1 時間分



1 回につき 1 クラス程度



全学年



福岡県内の幼保・小・中・特別支援学校等の学校施設や社会教育施設など



## 移動博物館車「きゅーはく号」。好評稼動中！

「あじっば」のキャラクターがモチーフになった、かわいいイラストが特徴の「きゅーはく号」！車両が展開するとステージに早変わり！学校のグラウンドや施設の駐車場といった屋外で多くの方々に体験していただく際におすすめです。



「きゅーはくきゃらばん」の実施に準じます。  
※冬季（12～2月）は稼動できません。



要相談（設営、撤去合わせて1時間程度かかります。）



一度に体験できる人数は10名程度



大人から子どもまでどなたでも



3.5tトラックが進入・駐車できるスペースが確保できる所。また駐車位置から50m以内に電源が確保できる所。  
（車両：全長6.6m 横幅2.1m 高さ3.2m ※展開時全長約8m 横幅約7m）



### 予約申込・お問い合わせ

**交流課「きゅーはくきゃらばん」事業担当**  
**(TEL:092-929-3289 FAX:092-929-3980)**

※詳細な実施内容や申込方法は、当館ホームページ「きゅーはくきゃらばん」をご参照ください。

## 学校用貸出キット「きゅうぱっく」

九州国立博物館では、学校の授業のなかで活用してもらうために、所蔵品等に関わる資料をトランクに詰めた学習支援ツールを用意しています。その名も「きゅうぱっく」！

「〈ホンモノ〉に触れる感動を味わってほしい」「楽しみながら学習内容に対する理解を深めてほしい」「博物館での鑑賞が充実したものになってほしい」という思いを込めて制作しました。

きゅうぱっくは全部で15種類。その中身は、手に取ることでできる実物資料、最新の技術を駆使して正確にかたちを再現したもの、音や匂いを体験することのできるツールなどさまざまです。

学校の授業で、学校行事や研修会で、博物館訪問の事前学習に、さまざまなかたちでご利用ください。



※写真は一例です。パンフレットは九博 HP「きゅうぱっくについて」のページからダウンロードできます。

### 「きゅうぱっく」の種類

- |                 |                   |                      |
|-----------------|-------------------|----------------------|
| (1) 「縄文人、海へ」    | (2) 「稲づくりから国づくりへ」 | (3) 「遣唐使の時代」         |
| (4) 「あじっば韓国」    | (5) 「あじっば五感」      | (6) 「土器のいろいろ」「火焰型土器」 |
| (7) 「青銅器のいろいろ」  | (8) 「誕生!!中国文明」    | (9) 「高麗の文化」          |
| (10) 「イスラームの祈り」 | (11) 「さまざまな穀物」    | (12) 「さまざまな香辛料」      |
| (13) 「モンゴルの馬頭琴」 | (14) 「土偶～祈りのかたち」  | (15) 「実践！勘合貿易」       |

### 貸出について

- 1 ご利用の2週間前までに、必ずお電話で予約状況をご確認の上、申し込みをしてください。
- 2 予約後、貸出申込書に必要事項を記入の上、九州国立博物館・交流課あてに FAX してください。  
(貸出申込書は当館 HP からダウンロードしてください。)
- 3 こちらで貸出申込書を確認し、内容を審査の上、貸出許可書を FAX で送付します。
- 4 貸出日に九州国立博物館までお越し下さい。(郵送も可能ですが、その際の費用は依頼主様のご負担となります。)

### 予約申込・お問い合わせ

**交流課教育普及室(092-929-3294)**

○団体受付・無料観覧申込書の提出

**総務課総務係**      **TEL 092-918-2841**  
**FAX 092-918-2810**

○ボランティアガイドツアーの予約申込

○「きゅーはくきやらばん」に関すること

**交流課ボランティア室**      **TEL 092-929-3289**  
**FAX 092-929-3980**

○各種体験、キャリア教育に関すること

○特別支援に関すること

○「きゅうぱっく」の貸出

**交流課教育普及室**      **092-929-3294**

○施設利用予約

○館内イベントに関すること

**交流課交流事業室**      **092-929-3602**

○その他のお問い合わせ

**NTT ハローダイヤル**      **050-5542-8600**

(午前 9 時～午後 8 時／年中無休)



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂 4-7-2  
[www.kyuhaku.jp](http://www.kyuhaku.jp)